

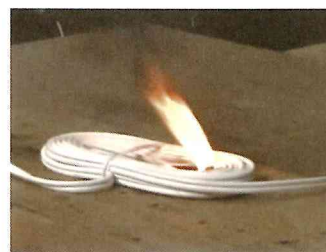
# 電源コードで火災事故

## 事故の概要

木造平屋建て住宅から出火、住宅の一部を焼き、左手にやけどを負った。

## 事故の原因

定格電流10Aの延長コードでテレビ、電子レンジ、電気ポットなど10Aを超えるたこ足配線で使用していました。また、コードを束ねた状態で使っていたため、束ねた部分が発熱・発火して周辺に燃え広がったものです。



再現実験（上がコードを束ねた状態、下はコード巻き取り器）

【NITEの再現実験】定格電流が7Aの延長コードを束ねた状態にして、1300W(13A)のホットプレートを使用しました。約25分後に束ねたコードの部分が180度に達し、発火しました。



【消費電力のめやす】

・ドライヤー 1200W ・アイロン 1000W ・電子レンジ 1200W ・ジャーポット 1000W  
・ホットプレート 1300W ・電磁調理器 1200W ・炊飯器 800W など



## 事故防止のために

- ◆コードに記載されている定格電流を超えるたこ足配線をしないでください。
- ◆コードを束ねたまま使用すると放熱が妨げられて、コードの温度が高くなります。
- ◆コードリールは、コードの一部を引き出した時と、すべてを引き出した時の定格電流が異なります。取扱説明書通りの消費電流を守って使ってください。
- ◆コードの上にものを乗せないでください。傷がついたり、熱がこもったりします。
- ◆コンセントの抜き差しでは、コードを無理に引っ張らないでください。芯線がきれたり、取り付け部分がショートしたりします。
- ◆テーブルタップは差し込み口の数だけ電源プラグを差し込んで使用できるものではありません。製品の消費電力を把握した上で使ってください。

# 電気コード断線による事故

## 事故の概要

【事例①】ドライヤーの電気コードから火花が散って、腹部にやけどを負った。

【事例②】電気あんかが急に熱くなり、ふとんが焦げた。

【事例③】電気毛布の電気コードから発火して住宅全焼し、1人がやけどを負った。

## 事故の原因

【事例①】ねじれや折り曲げなどの繰り返いで、芯線が断線して異常発熱し、ショートしたものです。

【事例②】収納時に電気コードを本体に巻き付けていたことから、芯線が断線してショートしたものです。

【事例③】電気毛布の電気コードをベッドの脚で踏んだ状態で使用していたため、コードの芯線が断線してショートし、周囲に延焼したものです。



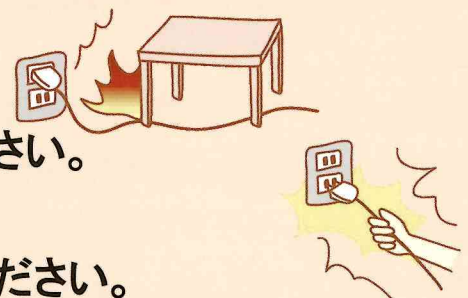
【再現実験】

ショートとは？ 電気が流れた状態で、極性が異なるコード(電線)の中の銅線が接触すると、大量の電気が流れるため、コードが発熱して発火する可能性があります。この状態をショート(短絡)といいます。



## 事故防止のために

- ◆無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
- ◆傷つけたり、重い物を載せたり、ドアなどに挟み込んだりしないでください。
- ◆束ねないでください。
- ◆先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
- ◆本体に巻き付けしないでください。
- ◆取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。



# 電気こんろによる火災

## 事故の概要

台所用品や雑誌等の可燃物を上に置いていた電気こんろ(ワンルームマンションなど※の小型キッチンユニット用)の電源が気づかないうちに入り、火災事故が発生した。

※戸建住宅のセカンドキッチン、集会所、病院(個室)、寮、ホテル客室に設置されている場合があります。

## 事故の原因

電気こんろの側を通った際、電気こんろの飛び出したスイッチのつまみに、身体や持っていたバック等が当たったり、上に置いた荷物がずれて当たり、スイッチが「入」となり、その状態に気づかず外出し、電気こんろの上に置いていた台所用品や雑誌等の可燃物が燃えたために火災に至ったものです。



## 事故防止のために

電気こんろの飛び出したスイッチのつまみは、意図せずスイッチが「入」になる場合があります。火災事故を防ぐために次の注意事項を守ってください。

①電気こんろのスイッチのつまみが飛び出した構造のものについては、無償改修を行っていますので、速やかに事業者又は小型キッチンユニット用電気こんろ協議会に連絡し、安全なスイッチ操作部に交換してください。



うずまき状のものが対象です。



つまみが飛び出している電気こんろが対象です。



周りにガードのあるつまみは改修済みです。引き寄せご使用いただけます。

②電気こんろの上や周囲に台所用品・新聞・雑誌などの可燃物やカセットこんろや他の電気製品を置かないでください。

# I Hこんろの事故

## 事故の概要

【事例①】天ぷらを調理中、油から炎が上がり、消火の際に右手にやけどを負った。

【事例②】加熱中のシチューが突然飛び散り、顔と手にやけどを負った。



## 事故の原因



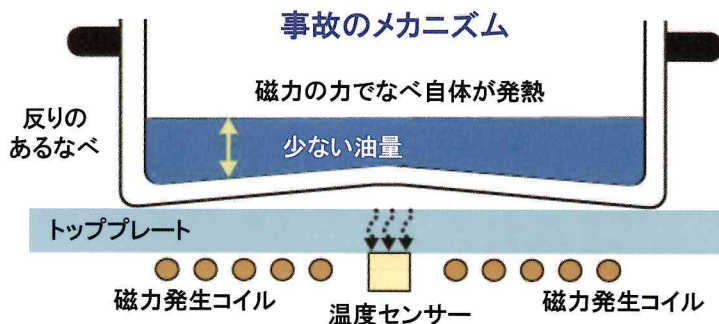
自然発火した調理油

実験映像より

【事例①】底の反ったなべを使用し、また少量の油で調理したため天ぷら油が過熱され、発火したものです。

【事例②】とろみがあるシチューをかき混ぜず、ふたをしたまま加熱したため突然沸騰(突沸)したものです。

こんろ加熱による突沸…流動性が低く加熱されにくい上層部が、局部的に加熱される下層部の沸騰をおさえる状態になり、そこにふたを取るなどの刺激が加わると圧力バランスが崩れて下層部で急激に沸騰が起こるものです。



なべ底にくぼみや反りがあると、空気層ができて温度センサーが正しく働きません



## 事故防止のために

- ◆揚げ物調理は、必ず揚げ物キーを使用してください。
- ◆IH専用なべを使ってください。なべ底に反り、たわみ、凹みがあると温度センサーが正確に働きません。
- ◆揚げ物調理時の油量は、少ないと温度が急激に上昇するため、温度センサーが正確な温度を測ることができません。
- ◆揚げ物調理中は、その場を離れないでください。
- ◆とろみのあるみそ汁、シチュー等はよくかき混ぜて、火力を弱めにしてください。過加熱状態の部分ができ、突沸するおそれがあります。
- ◆取扱説明書に従って正しく使用してください。



# 洗濯物から発煙・発火

～美容オイルなどが付着した洗濯物を洗濯し乾燥機を使用～

## 事故の概要

【事例①】乾燥中の衣類が燃え、乾燥機を焼いた。

【事例②】乾燥運転終了後、しばらくして洗濯物から発煙した。

## 事故の原因

【事例①】オリーブオイルの付いた洗濯物を洗濯後に乾燥運転したため、洗濯物に残っていたオイルが酸化反応を起こして発熱して自然発火し、乾燥機を焼損したものです。

【事例②】オイルの付いた洗濯物を洗濯後、乾燥機で乾燥させそのまま放置していたため、洗濯物に残っていたオイルが酸化反応を起こして発熱し、洗濯物から発火したものです。

酸化反応とは・美容オイル(オリーブオイル、アーモンドオイル、グレープシードオイル等)、食用油、動物油などの油は、空気に触れると酸化して熱が発生します。この熱を酸化熱といいます。酸化熱が蓄積して温度が上昇することで、自然発火に至ることがあります。

～再現実験～

美容油をしみ込ませたシャツを洗濯し乾燥機で乾燥させた。



洗濯物を乾燥機から取り出し、放置開始



放置開始から2時間16分後、自然発火



発火後、そのまま放置していると、洗濯物に全体に火が回った



## 事故防止のために

◆美容オイル(オリーブオイル、アーモンドオイル、グレープシードオイル等)、食用油、動物油等の付着したものを乾燥機で乾燥させないでください。(油は水による洗濯でも完全に除去できません。)

- ・乾燥中に酸化熱が発生して、発火するおそれがあります。
- ・乾燥後、取り出した後でも長時間放置すると、残った油等が酸化熱により発火するおそれがあります。

nite 製品安全センター



# シュレッダーの指切断事故

## 事故の概要

2歳8カ月の幼児が両手をシュレッダーに巻き込まれ、指9本を失った。



## 事故の原因

保護者が目を離れた間に、女兒が誤って電源が入った状態のシュレッダーの紙投入口に指を入れたため、指が引き込まれたものです。シュレッダーは投入口の幅が広く、投入口から細断刃までが短い構造でした。



事故同等品(写真左)の紙投入口は8ミリでした。改良品(写真右)では4ミリになっています。



## 事故防止のために

- ◆子どもにシュレッダーを触らせないでください。
- ◆使用時には子どもを近づけさせないように十分に注意をしてください。衣服やリボン、または髪の毛等が巻き込まれるおそれがあります。
- ◆使用しないときは、電源を切ってください。

NITEは、平成18年8月24日付けで「事故情報特記ニュース」を発行し、注意喚起を行いました。

電気用品安全法においてシュレッダー等の技術基準が改正され、平成19年9月18日から施行されました。

